

令和3年度事業報告の内容報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度の京都の雇用情勢は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から求職者数が依然として高水準にあり、府内の令和3年平均の有効求人倍率は1.06倍と全国平均1.13倍より低く、前年から0.11ポイント低下しました。

令和3年の京都府内の労働災害は、死亡者数は16人（新型コロナウイルス感染症による死亡1人を含む）と前年に比べ7人増加しており、休業災害も2,840件（新型コロナウイルス感染症を除く件数は2,528件）と対前年比で12.3%の増加（両年の新型コロナウイルス感染症を除くと8.6%の増加）となっています。

更に、労働者の健康をめぐる状況については、京都府内事業場の定期健康診断の結果における有所見者割合は59.94%（対前年比0.74ポイント減）と高水準であり、加えて、化学物質による健康障害対策や過重労働対策、メンタルヘルス対策を中心とする健康確保対策の必要性が一層重要となってきています。

令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大が継続し、京都府下に繰り返し緊急事態宣言が発令される中、京都労働基準協会（以下「協会」）の諸事業は、制約を受けながら、京都労働局、各労働基準監督署及び会員事業場のご理解、ご支援をいただいて、関係団体と連携・協調し、感染拡大防止に努めつつ、前年度の経験を活かし、創意工夫しながら事業を行ってまいりました。

1 労働行政への協力と労働基準協会各支部との連携

京都労働局、各労働基準監督署における労働行政の円滑な推進と、行政目標の実現に向け、積極的に協力するとともに、「京都労基」、協会・支部ホームページ等を活用し、労働行政の諸課題、関係法令の周知・広報等に努めました。

また、本部、各支部が一体となって労働行政の推進を支援するとともに、講習事業等についての調整、応援体制の確保等を行うなど協会として業務推進体制の一体化を図りました。

2 会員事業場等へのサービスの向上と財政基盤の確立

会員事業場の退会、講習等受講者の減少など、協会財政を取り巻く環境が厳しさを増すなかで、法改正に応じた需要の多い技能講習等の実施増、新規講習の立ち上げなど会員事業場のニーズを踏まえた事業運営に努めました。

昨年度、新型コロナウイルス感染拡大による技能講習の中止、規模縮小等のため、大幅に収入が減少し、流動資産が減少して今年度以降の事業運営に不安が有ったことから、今年度は定期預金の解約、運営準備積立資産の取崩しを行い、今後とも安定的な協会運営ができるよう準備しました。

また、講習等が中止となった緊急事態宣言期間中を中心に本部、京都市内支部において職員を交替で休業させる等して、雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金を受給しました。

会員数については、新規加入事業場があったものの、事業廃止・他府県への移転、コロナ禍による経費削減等による退会事業場が増加し、減少傾向が続いています。

令和3年度末現在の会員合計は2,542社（15増43減）となっています。

【会員数の推移】

	本 部	京都上	京都下	京都南	福知山	舞 鶴	丹 後	園 部	全 体
2 年度末	114	274	251	413	464	351	427	276	2,570
3 年度末	113	268	246	409	459	346	426	275	2,542

増 減	-1	-6	-5	-4	-5	-5	-1	-1	-28
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

3 本部・支部の協力

各種技能講習及び特別教育、セミナー事業等についての実施に当たっては、本部、支部が協力して開催する等の体制を確立しています。

支部事務局長会議は令和3年7月、10月、令和4年1月にWeb会議併用で開催し、各支部の事業実施状況の確認、本部からの連絡による意思統一等を図りました。

4 安全衛生意識の高揚、自主的安全衛生管理活動の推進と快適職場の実現

(1) 京都安全衛生関係団体等連絡協議会の運営

「京都安全衛生関係団体等連絡協議会」(代表幹事：協会)において、各労働災害防止団体とともに京都府内における安全衛生活動の推進等についての協議・検討を行いました。

本年度の協議会は会場とWebの併用で実施し、第37回を迎えた「京都ゼロ災3か月運動」の実施の方針を確認するとともに、主催者として運営に当たりました。また、同協議会の教習部会において各団体等が実施する教習等についての調整を実施し、広報に努めました。

京都安全衛生大会については、7月6日に実施を予定し、準備のため4月21日に第1回実行委員会を開催しましたが、その後の新型コロナウイルス感染拡大により、5月25日に臨時実行委員会を開催し、本年度の中止を決定しました。

(2) 安全・衛生表彰の実施 (公益目的事業2)

例年、京都労働基準協会協会長表彰授与は京都安全衛生大会の際に実施していましたが、同大会を実施しないこととしたため、授与は各支部の判断で行うこととしました。

京都労働局長等行政表彰、協会長表彰受賞者名簿は【別紙1】のとおりです。

(3) 第37回「京都ゼロ災3か月運動」の実施(7月1日～9月30日) (公益目的事業2)

例年とおり「トップの安全衛生に関する宣言」と「危険ゼロ」の取組による「災害ゼロ」の達成と「健康確保」を目標に取り組みました。

令和3年度の参加事業場数は2,368事業場(令和2年度 2,366事業場 +2)、達成事業場数は2,278事業場(達成率：96.2% 令和2年度比0.9ポイント増)となりました。

無災害達成事業場には、主唱者である京都労働局長から達成証が交付されました。

所属団体ごとの達成事業場数は【別表1】のとおりです。

(4) 第80回全国産業安全衛生大会(東京大会)への協力 (公益目的事業2)

10月27日から29日の期間で第80回全国産業安全衛生大会が、「働く人の安全・健康・幸せを未来に伝える人づくり」をテーマに、東京都において開催されました。

今回の大会は現地開催の他に、LIVE、オンデマンドのWEB配信も行われ、協会会員の積極的な参加をお願いしました。京都府内からの参加者数(参加券購入数)は50名でした。

(5) 安全衛生等行事への協力と用品等の斡旋 (収益事業)

毎年の取組として全国安全週間、全国労働衛生週間や各種運動期間等における事業場での取組を支援するため、中災防のポスター、のぼり等の用品、「安全の指標」・「労働衛生のしおり」をはじめとする各種の参考図書等の斡旋を行い、事業場が実施する週間等への取組に協力しました。

(各種週間等)

○ストップ! 転倒災害プロジェクト

転倒防止強調月間 6月

- 全国安全週間 7月1日～7日（準備月間は6月）
スローガン 「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」
- 全国労働衛生週間 10月1日～7日（準備月間は9月）
スローガン 「向き合おう！ こころとからだの 健康管理」
- 年末年始無災害運動 12月15日～1月15日
スローガン 「年末年始も 安全作業 あなたが無事故の キーパーソン」
- 安全衛生教育促進運動 12月1日～4月30日
スローガン 「正しい知識で 職場を安全・健康に！」

5 心とからだの健康確保対策の推進

（1）「京都産業保健セミナー」の開催（公益目的事業2）

京都労働局、京都府医師会及び京都産業保健総合支援センター等と連携し、「全国労働衛生週間」中の行事として職場における心とからだの健康確保対策の推進を主眼とする「京都産業保健セミナー」を10月4日に池坊学園こころホールにおいて開催し、産業医、衛生管理者等66名の参加者が有りました。

セミナーでは京都労働局担当官による「労働衛生の現状等について」の講演と、近畿大学法学部三柴丈典教授の特別講演「産業保健と法～Q&A形式で説くメンタルヘルスに関する現場問題と法的処方箋」を行いました。

特別講演は録画し、オンデマンドで期間を定めて協会ホームページから配信し、セミナーに参加できなかった方が視聴できるようにしました。

（2）京都衛生管理者会総会等について（公益目的事業2）

京都産業保健セミナーの開催に併せて、同日、京都衛生管理者会総会を開催し、興研株式会社担当者の講演「マスクに関する新たな実施事項等について」を行い、衛生管理活動の充実に資することとしました。「交流会」については新型コロナウイルス感染防止のため実施しませんでした。

協会が事務局として運営する「京都衛生管理者会」は、平成15年6月に発足して以来、毎年新規入会者が有り、現在では登録会員数が800名を超えています。

6 技能講習・特別教育（公益目的事業1）

事業場における安全衛生管理体制の確立、無資格者就労の根絶及び作業者等の安全衛生面の能力向上等を図るため、年間計画に基づき技能講習や特別教育等を実施しました。

しかし、本年度も新型コロナウイルス感染防止のために講習会場の定員が削減され、また緊急事態宣言期間中を中心に本部・京都市内支部が学科会場として使用する京都経済センター会議室が閉鎖されたこと、実技会場の貸与が受けられなかったこと等から講習等を急遽中止せざるを得ない事態が度々発生し、計画とおりの講習等実施が出来ませんでした。

対応として、より大きな会場の使用による定員の確保、講習日の変更・追加、振替実施、緊急事態宣言期間中も使用できる会場への変更等を行い、可能な限り年間計画（件数・定員）が実施できるよう努力しました。

また、令和4年4月1日からアーク溶接作業について特定化学物質等作業主任者の選任が法義務となることから、同講習の申込者が殺到する事態となったため、計画以外に追加して講習を実施しました。

さらに、令和3年10月に京都労働局長から建築物石綿含有建材調査者講習を行う団体として登録（登録番号 京石第1号）を受け令和4年2月、3月に同講習を実施しました。

令和3年度における技能講習・特別教育等の実施状況は【別表2】のとおりで、協会全体の受講者として、コロナ禍のため講習の中止、定員削減を余儀なくされた令和2年度に比べ、回数で48回、受講者数で3,095名増え（回数増加率44.9%、受講者数増加率71.4%）、155回、7,431名となりました。この数字は

第4四半期にコロナ禍のためキャンセル増加、一部開催中止となった令和元年度と比べても24回、549名の増加でありました。

7 巡回健康診断事業の実施 (公益目的事業3)

支部事業として、令和3年度においても福知山支部、舞鶴支部、丹後支部、園部支部の4支部で実施しました。コロナ禍により延期、規模縮小、一部中止の措置を取った前年度に比し、受診者数は全体としては697名増加(増加率3.4%)し、定期健診19,874名、特殊健診639名、労災2次健診649名、合計21,162名となりました。

【各支部受診者数】

(人)

	福知山支部	舞鶴支部	丹後支部	園部支部	合 計
定期健診	7,480	5,041	4,834	2,519	19,874
特殊健診	99	332	107	101	639
労災2次健診	494	94	61	0	649
合 計	8,073	5,467	5,002	2,620	21,162

注：特殊健診は、じん肺、有機溶剤、特定化学物質、鉛

8 労働基準関係等の各種教育・セミナーの実施 (公益目的事業1)

協会は全国労働基準関係団体連合会京都府支部として、また、他の団体との協力により労働条件の確保改善・労働災害の防止等に関する各種教育・セミナーを実施しておりますが、令和3年度に実施した事業は次のとおりです。

(1) 全国労働基準関係団体連合会京都府支部事業

ア 大学生・高校生等を対象とした労働条件セミナー

これから就職する大学生等、高等学校の生徒等を対象として専門講師派遣による労働関係法令等の周知、啓発のためのセミナーを無料で開催しました。

令和3年度は3校の高等学校(定時制を含む)に対して実施し、受講者数は計350名でした。

イ 外国人技能実習制度関係者養成講習

「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」に基づく外国人技能実習制度関係者講習について、技能実習責任者講習、技能実習指導員講習、生活指導員講習を実施しました。

本講習は令和3年9月に実施を予定していましたが、緊急事態宣言期間中であつたことから、令和4年1月に振替実施しました。

(受講者数 技能実習責任者講習10名、技能実習指導員講習19名、生活指導員講習15名)

(2) 労働調査会共催事業 (公益目的事業1)

建設雇用改善法に基づく雇用管理研修

「建設労働者の雇用の改善等に関する法律」に基づき建設事務所に選任・配置が義務付けられている「雇用管理責任者」に関する研修を4回開催(共催)し、参加者は計65名でした。

9 委託事業の実施 (公益目的事業2)

中小規模事業場における多様な安全衛生課題の解決に向けた取り組みに資するため、相談会の開催、安全衛生に関する専門的知識やノウハウを有する相談員による助言、情報提供等を通じて中小規模事業場の安全衛生水準の向上に寄与することを目的として中央労働災害防止協会から委託を受けた「中小規模事業場安全衛生相談事業(都道府県版)」(厚生労働省補助事業)を受託し、本部・支部において本事業による安全衛生相談を受け付けました。受付対応件数は134件でした。

主要会議・行事等の開催

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

開催年月日	会議・行事等の内容	開催場所
3.4.21	京都安全衛生大会第1回実行委員会	京都経済センター
3.5.12	協会 監事監査実施	協会事務所
3.5.17	協会 第1回理事会 (Web 会議) 1 議案審議 第1号議案 令和2年度事業報告及び収支決算報告承認の件 第2号議案 理事選任の件 第3号議案 運営準備積立資産の取崩の件 第4号議案 講習定員削減等を理由とする講習受講料金の値上げについて 第5号議案 重要な使用人候補について 第6号議案 新規会員入会承認の件 第7号議案 令和3年度通常総会招集の件 2 報告 (1)職務執行状況報告 (2)近畿経産局立入調査結果について	京都経済センター
3.5.25	京都安全衛生大会臨時実行委員会 令和3年度京都安全衛生大会中止決定	京都労働局
3.6.8	京都産業保健連絡協議会 1 京都産業保健セミナーについて 2 衛生管理者会総会について	京都労働局
3.6.15	協会 通常総会 1 議案審議 報告事項 (1)令和2年度事業報告の内容報告の件 (2)令和3年度事業計画及び収支予算の内容報告の件 決議事項 第1号議案 令和2年4月1日から令和3年3月31日までの計算書類(財産目録を含む)の承認の件 第2号議案 理事選任の件 2 新入会員紹介	京都産業会館ホール 北室
3.6.15	協会 第2回理事会 1 議案審議 第1号議案 役付理事選定の件	京都経済センター
3.6.21	第1回京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会 1 京都安全衛生大会の中止について 2 本年度連絡協議会費について 3 来年度京都安全衛生大会について	京都労働局

3. 7. 6	第 1 回支部事務局長会議（Web 会議併用） 1 各支部の第 1 四半期の業務実施状況、今後の予定等 2 本部からの連絡事項 2 支部運営上の問題点について	京都経済センター
3. 8. 5	衛生管理者会幹事会 1 京都産業保健セミナーについて 2 衛生管理者会総会について	京都経済センター
3. 9. 13	第 2 回京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会（Web 会議併用） 1 労働災害発生状況について 2 「京都ゼロ災 3 か月運動」参加状況について 3 令和 4 年度京都安全衛生大会について	京都経済センター
3. 10. 4	京都産業保健セミナー 1 主催者挨拶 （一社）京都府医師会 産業保健担当理事 森口次郎 氏 2 来賓挨拶 京都労働局健康安全課長 堀 記子 氏 3 講演 「労働衛生の現状について」 京都労働局健康安全課地方労働衛生専門官 黒川仁晴 氏 4 特別講演 「産業保健と法～Q&A 形式で解くメンタルヘルスに関する現場問題と法的処方箋」 近畿大学法学部教授 三柴丈典 氏 5 閉会挨拶 京都衛生管理者会代表幹事 高田志郎 氏	池坊学園こころ ホール
3. 10. 4	京都衛生管理者会総会 1 講演 「マスクに関する新たな実施事項等について」 興研（株） 阿部訓士 氏 2 事務局報告 京都衛生管理者会事務局	池坊学園こころ ホール
3. 10. 22	第 2 回支部事務局長会議（Web 会議併用） 1 各支部の第 2 四半期の業務実施状況、上半期経理状況、今後の予定等 2 本部からの連絡事項 2 支部運営上の問題点について	京都経済センター
3. 11. 2	協会 3 部会合同会議（Web 会議併用） 1 令和 3 年度上半期主要事業等の実施状況及び収支状況（令和 3 年 9 月末） 2 令和 3 年度下半期主要事業の実施計画 3 その他 令和 4 年度総会までの予定	京都経済センター
3. 12. 8	京都労働局登録教習機関の業務に係る監査指導	協会事務所
3. 12. 13	第 3 回京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会及び教習部会（Web 会議併用） 1 令和 3 年労働災害発生状況 2 「京都ゼロ災 3 か月運動」の結果について 3 令和 4 年度京都安全衛生大会について 教習部会 1 令和 4 年度教習計画について	京都経済センター

	2 教習の広報について	
4. 1. 17	新年安全祈願祭	下鴨神社
4. 1. 25	第3回支部事務局長会議（Web 会議併用） 1 各支部の第3四半期までの業務実施状況、経理状況、令和4年度事務局体制・役員体制・行事予定等報告 2 本部からの連絡事項	京都経済センター
4. 3. 14	第4回京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会（Web 会議併用） 1 令和3年の労働災害発生状況について 2 令和4年度安全衛生行政の重点課題について 3 令和3年度会計報告について 4 令和4年度事業計画について 5 令和4年度ゼロ災3か月運動実施要綱案について	京都経済センター
4. 3. 15	協会 第3回理事会 1 議案審議 第1号議案 令和4年度事業計画（案）及び正味財産増減予算（案）審議の件 第2号議案 講習会等のWeb受付システムの構築及び予算の確保について 第3号議案 特定資産の取崩しの件 第4号議案 新規会員入会承認の件 2 報告 (1)職務執行状況報告について (2)令和3年度の本部経理状況について（令和4年2月末現在） (3)令和4年度本部体制について (4)役員損害賠償責任保険の加入について	京都経済センター

公益社団法人全国労働基準関係団体連合会（全基連）関係

開催年月日	会議・行事等の内容	開催場所
3. 6. 1	令和 3 年度通常総会 1 議事 第 1 号議案 議事録署名人選任の件 第 2 号議案 令和 2 年度事業報告承認の件 第 3 号議案 令和 2 年度決算報告承認の件 第 4 号議案 役員選任の件 2 報告 (1) 令和 3 年度事業計画の件 (2) 令和 3 年度収支予算の件	Web 会議
3. 6. 1	令和 3 年度第 1 回支部事務局長全国会議 1 令和 2 年度公益目的事業の結果について 2 令和 3 年度受託事業の状況について 3 令和 3 年度事業の進め方と留意点について 4 その他	Web 会議
4. 3. 24	令和 3 年度第 2 回支部事務局長全国会議 1 令和 3 年度委託事業の実施結果及び令和 4 年度委託事業への競争参加状況 2 令和 3 年度技能実習制度関係者養成講習事業の実施結果及び令和 4 年度概要について 3 令和 4 年度自主事業の推進等について	Web 会議

中央労働災害防止協会（中災防）関係

開催年月日	会議・行事等の内容	開催場所
3. 5. 31	令和 3 年度通常総会 議事 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告の承認を求めるの件 第 2 号議案 令和 2 年度決算の承認を求めるの件 第 3 号議案 令和 3 年度事業計画案審議の件 第 4 号議案 令和 3 年度収支予算案の審議の件 第 5 号議案 役員選任の件	経団連会館 (委任状提出)
3. 10. 27～29	第 80 回全国産業安全衛生大会東京大会 緑十字展 2021	東京国際フォーラム
3. 12. 9	令和 3 年度近畿ブロック労働基準協会（連合会）・中災防業務連絡会議 1 中災防の令和 3 年度事業推進状況及び令和 4 年度事業計画について 2 各労働基準協会（連合会）の令和 3 年度事業推進状況及び令和 4 年度事業計画について	Web 会議

【別紙 1】

京都労働局長表彰

(敬称略、五十音順)

【優良賞】 [地域の中で、安全衛生（安全確保対策、健康確保対策、健康の保持増進対策、快適な職場環境の形成）に関する水準が特に良好で他の模範であると認められる事業場又は企業に対する表彰]

<安全確保対策>

エムエムシーツーリング株式会社 京都工場

株式会社大林組 大阪本店 ウェスティン都ホテル京都改修工事

西松建設株式会社 西日本支社 国道 9 号京都西共同溝シールド工事・国道 9 号京都西共同溝シールド西部工事

【奨励賞】 [地域の中で、安全衛生（安全確保対策、健康確保対策、健康の保持増進対策、快適な職場環境の形成）に関する水準が良好で改善のための取組が他の模範と認められる事業場又は企業に対する表彰]

<安全確保対策>

株式会社竹中工務店（仮称）ピークルエナジージャパンFライン建屋建設工事

<健康確保>

日本新薬株式会社 本社・西部創薬研究所・食品開発研究所

社会福祉法人博愛福祉会 特別養護老人ホーム グリーンプラザ博愛苑

【功労者】 [地域の中で、安全衛生活動を活発に推進し、関係事業場の安全衛生水準の向上に顕著な功績があった個人に対する表彰]

<功績賞>

狩野哲也（金下建設株式会社）

公益社団法人京都労働基準協会会長表彰

(敬称略、五十音順)

【事業場表彰】 [安全衛生活動を活発に実施し、その進歩が著しく他の模範となる事業場に対する表彰]

愛和金属有限会社

株式会社片山化学工業研究所 綾部工場

月桂冠株式会社 本社

株式会社中央保健工業社

橋本電機株式会社

株式会社ヨコタ京都

【個人表彰】 [安全衛生活動を活発に実施し、当該地域及び事業場における安全衛生水準の向上・発展に著しく貢献した者に対する表彰]

岩崎悦朗（元株式会社神内電機製作所 綾部工場）

岩田 幸（宮津建設業協会）

高田重隆（日之出化学工業株式会社 舞鶴工場）

松岡健一（太陽工業株式会社 瑞穂工場）

八木孝正（積水化学工業株式会社 京都研究所）

報告事項(1)別表1 『京都ゼロ災3か月運動』参加・達成状況(平成29年～令和3年度)

	主 催 者 団 体 名	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		参 事 業 場 数	加 達 事 業 場 数	参 事 業 場 数	加 達 事 業 場 数	参 事 業 場 数	加 達 事 業 場 数	参 事 業 場 数	加 達 事 業 場 数	参 事 業 場 数	加 達 事 業 場 数
1	(公社)京都労働基準協会	237	215	240	222	233	221	227	216	220	204
2	(公社)京都労働基準協会 上 支 部	363	353	368	355	342	328	345	325	366	351
3	(公社)京都労働基準協会 下 支 部	498	483	487	479	515	501	482	472	465	453
4	(公社)京都労働基準協会 南 支 部	355	331	356	335	303	283	311	286	300	286
5	(公社)京都労働基準協会 福 知 山 支 部	182	176	180	170	186	179	183	176	183	177
6	(公社)京都労働基準協会 舞 鶴 支 部	94	87	92	82	89	86	85	82	78	76
7	(公社)京都労働基準協会 丹 後 支 部	248	237	226	220	182	176	146	139	145	141
8	(公社)京都労働基準協会 園 部 支 部	161	154	160	154	161	158	161	156	161	157
9	建設業労働災害防止協会 京 都 府 支 部	256	250	265	261	223	210	227	214	234	228
10	陸上貨物運送事業労働災害 防 止 協 会 京 都 府 支 部	24	24	23	22	10	8	13	12	20	19
11	林業・木材製造業労働災害 防 止 協 会 京 都 府 支 部	91	85	80	76	78	77	83	76	84	80
12	港湾貨物運送事業労働災害 防 止 協 会 舞 鶴 港 分 会	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
13	港湾貨物運送事業労働災害 防 止 協 会 宮 津 港 分 会	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1
14	(一社)日本ボイラ協会 京 滋 支 部	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10
15	(一社)日本クレーン協会 京 都 支 部	6	6	7	7	6	6	8	8	8	7
16	(公社)建設荷役車両安全 技 術 協 会 京 都 支 部	30	29	30	30	27	26	27	26	26	25
17	(一社)京都府溶接協会	8	6	9	8	2	2	5	5	5	5
18	京都府採石公災害防止会 連 絡 協 議 会	13	13	13	13	14	14	14	14	13	13
19	京都府建築工業協同組合	9	9	9	9	6	6	6	6	9	9
20	(一社)京都府トラック協会					30	29	27	26	35	31
合 計		2,592	2,475	2,562	2,459	2,423	2,326	2,366	2,255	2,368	2,278
ゼロ災運動達成率(%)		95.5		96.0		96.0		95.3		96.2	

報告事項(1)別表2

令和3年度受講者数等

本部・支部 実績計		本部		京都上支部		京都下支部		京都市支部		福知山支部		舞鶴支部		丹後支部		園部支部		合計		前年度(2年度)		増減								
		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数							
技能講習	玉掛け	3	168							2	120	3	94	2	49	10	431	7	309	3	122									
	フォークリフト	8	458					2	92	2	118	2	115	2	35	18	897	13	655	5	242									
	床上操作式クレーン									1	38	1	40			2	78	2	97	0	-19									
	小型移動式クレーン									1	30	2	56	1	30	4	116	4	102	0	14									
	ガス溶接	4	98							1	38	1	40	1	30	7	206	6	209	1	-3									
	プレス機械	1	27												1	27	1	22	0	5										
	乾燥設備	1	69													1	69	1	67	0	2									
	特定化学物質	12	1,100					1	63	3	166	8	438	1	31	25	1,798	11	616	14	1,182									
	鉛	1	64													1	64	1	53	0	11									
	酸欠・硫化水素	4	230							1	40	1	50			6	320	6	242	0	78									
特別教育	有機溶剤	8	533	2	61					1	60	1	64			12	718	12	613	0	105									
	アーク溶接	1	39							1	36	2	41	1	33	5	149	3	103	2	46									
	プレス金型取替	1	32												1	32	1	35	0	-3										
	粉じん	1	40							1	16					2	56	2	48	0	8									
	石綿															0	0	0	0	0	0									
	ロボット	1	26													1	26	2	32	-1	-6									
	研削といし取替え等			1	48					1	40	1	40	1	19	4	147	4	189	0	-42									
	低圧電気					4	193			1	54	1	26			7	286	3	52	4	234									
	酸欠・硫化水素特別教育															0	0	0	0	0	0									
	クレーン運転(5t未満)															4	123	2	41	2	82									
建築物石綿含有建材調査者講習	フルハーネス型安全帯使用作業									1	60	1	30	2	33	4	123	2	41	2	82									
	有機溶剤作業主任者養成講習	2	125			4	1	203	1	89	1	61	3	154	1	23	12	577	4	208	8	369								
	衛生管理者試験準備講習	1	21													2	125	0	0	2	125									
	衛生管理者能力向上教育Ⅰ															1	21	1	20	0	1									
	衛生管理者能力向上教育Ⅱ															0	0	0	0	0	0									
	衛生管理者能力向上教育Ⅲ															2	135	1	42	1	93									
	安全衛生推進者養成															0	0	0	0	0	0									
	安全衛生推進者養成															0	0	0	0	0	0									
	安全衛生推進者養成															0	0	0	0	0	0									
	安全衛生推進者養成															0	0	0	0	0	0									
職長・安全衛生責任者	新入者等安全衛生教育															4	178	3	112	1	66									
	KYT(危険予知訓練)研修会															3	152	2	55	1	97									
	安全管理者講習会															3	117	1	35	2	82									
	安全管理者講習会															6	115	4	87	2	28									
	安全管理者講習会															0	0	0	0	0	0									
	安全管理者講習会															0	0	0	0	0	0									
	安全管理者講習会															0	0	0	0	0	0									
	安全管理者講習会															0	0	0	0	0	0									
	安全管理者講習会															0	0	0	0	0	0									
	安全管理者講習会															0	0	0	0	0	0									
計		51	3,165	2	4	357	5	7	545	5	6	492	23	0	1,087	29	2	1,292	12	1	286	7	1	207	155	7,431	107	4,336	48	3,095
	前年(令和2年度)	44	1,989	1	5	286	0	4	228	3	5	343	11	0	464	17	2	734	8	0	175	5	2	117	107	4,336				
増減		7	1,176	0	71	71	8	317	3	149	12	623	12	558	5	111	1	90												

※シンポジウム、セミナー等の無料の事業を除く。